SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
11	海外で購入した血糖を下げるという漢方薬を服用して重篤な低血糖症（報道発表）	海外旅行先で購入してきた漢方薬を服用して低血糖症を発症し、意識不明の重症で病院に救急搬送されるという事故が発生した。この患者が病院に搬送されてきた際にはとても危険な状態で、処置をしないと脳に後遺症が残るか死亡に至っていた可能性もあった。この漢方薬に血糖降下作用のある医薬品成分グリベンクラミドが含まれていたことから情報提供することとした。	表示に従って服用すると、国内で定められている医薬品としての1日最高服用量の10mgを越えてしまうものであった。
12	販売時の表示とは異なり、公道走行できないペダル付き電動 2輪車(報道発表)	インターネット通販で販売されていたペダル付き電動2輪車について、公道を走行できないことが判明したため、2005年に排除命令が出された。しかし、依然として公道使用の可否に関して曖昧な表現の商品が販売されている。そこで、販売サイトの表示や、車両の機能や装備の調査を行い、再度、情報提供を行うこととした。	販売サイトの記述に公道で使用できるかのような表現がみられた。しかし、ペダルをこがなくてもモーターが作動したり、モーターの出力がペダル踏力に追従していないため、自転車として公道走行できないものであった。また、保安部品が装備されておらず、原動機付自転車としても公道走行できないものであった。
13	米	新米を購入し電気炊飯ジャーで炊いたところ、炊きたては問題なかったが、20時間保温したご飯は、異臭がして食べることができなかった。米に問題がないか調べてほしい。	相談者が使用していた電気炊飯ジャーと同型の電気炊飯ジャー1 台を用いて苦情品を炊飯し、20時間保温したご飯からは、異常な臭いが感じられたが、他の電気炊飯ジャーではそのような臭いは感じられず、米に問題があるとは言えなかった。一方、異常な臭いが感じられた電気炊飯ジャーは、米を変えても異常な臭いが感じられたことから、臭いの発生には少なくとも電気炊飯ジャーが関与していると推察された。
14	無洗米	「無洗米」を購入したが、とがないと濁りが消えない。濁度に問題がないか調べてほしい。	苦情品について、米穀公正取引推進協議会「米穀の品質表示ガイドライン」の無洗米の品質基準にある濁度測定方法を行ったところ、濁度の基準(40ppm 以下)を満たしていた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
15	そば	贈答セットの中のそばをゆでて口に入れると、舌がピリピリとした感覚があった。家族も同様の感覚だった。原因を調べてほしい。	ゆでた苦情品の表面に、食べた際に刺激になると考えられるような突起等はみられなかった。また、食味のモニターテストでも、苦情品のそばに刺激を感じたモニターはおらず､「口に入れると、舌がピリピリとした感覚」につながる事象は確認できなかった。
16	冷凍の生食用ウニ	ミョウバン不使用とうたわれていた冷凍の生食用ウニを購入したところ、ミョウバンの入っているような味がした。ミョウバンが使用されていないか調べてほしい。	苦情品に食品添加物として用いられるミョウバン(アルミニウム化合物)が使用されたかをみるため、アルミニウムの含有量を調べたところ、14 ppm であった。これは天然の生ウニに本来含まれるアルミニウム含有量とほぼ同程度であることから、苦情品にはミョウバンは使用されていないものと考えられた。
17	食用オリーブ油	半年前に購入した食用オリーブ油が、オリーブ油とは思えない味や香りであった。オリーブ油かどうか調べてほしい。	苦情品の脂肪酸組成を調べたところ、オリーブオイルの範囲とされる範囲内にあった。また、酸度(遊離脂肪酸)は、国際オリーブ協会の定めるエキストラバージンオリーブオイルの規定の範囲内であった。
18	蜂蜜	「純粋」との表示がある蜂蜜を購入したが、価格が安価だったので､「純粋」と表示できるものかが疑わしい。表示に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、水や異性化糖などの添加の可能性は低く､「純粋」の表示は、はちみつ類の表示に関する公正競争規約上問題ないと考えられたが、H.M.F.（ヒドロキシメチルフルフラール）が基準を満たしていなかったことから、蜂蜜としての品質にやや問題があると考えられた。
19	清涼飲料水	同じ銘柄の炭酸飲料を自動販売機と店舗で購入したところ、容器の形が異なり、店舗で購入した飲料のほうが、炭酸が抜けた薄い味であった。成分に違いがないか調べてほしい。	苦情品の店舗用、自動販売機用のナトリウム含有量、ビタミンＣ含有量、酸度、炭酸ガス内圧力に差はみられなかった。また、苦情同型品により行った味のモニターテストでは、店舗用と自動販売機用に多少の違いを感じるモニターもいたが、ほぼ同じであると評価された。
20	ポップコーン	電子レンジで作るポップコーンを作ったところ、刺激臭がし、そばにいた子どもが目に炎症を起こした。容器の材質等に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品を表示よりも長く加熱した場合に、通常食品を焦がしたときに発生する刺激のある成分が検出された。モニターテストでは、半数以上のモニターが目や鼻に刺激を感じていたことから、相談者の子どもの症状は、近くでこれらの成分に接したために起こった可能性が考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
21	健康食品	おなかがスッキリするという植物を含む茶葉を購入し、一日何度もお湯を継ぎ足して飲んでいたところ効果がありすぎる。下剤としての作用があるセンノシドが含まれていないか調べてほしい。	相談者の入れ方に合わせて苦情品をお湯で浸出させ、それを全量摂取した場合のセンノシド量を調べたところ、下剤としての生理作用を及ぼす可能性のある量であった。
22	健康食品	グルコサミンを高濃度で配合しているという健康食品のグルコサミン量が表示通りかどうか調べてほしい。	苦情品のグルコサミンの含有量は表示に比べてやや少ないものの、健康増進法に基づく栄養表示基準の成分の誤差範囲内であった。なお、苦情品の原材料名の表示ではグルコサミン塩酸塩は最も多い原材料にもかかわらず 7 番目に記載されており、JAS 法に抵触するおそれがあると考えられた。
23	電気ジャーポット	5 年前に購入した電気ジャーポットの中に白い粉が浮くため修理を依頼したところ、ふたの内側のプラスチックが溶けているとのことであった。白い粉が有害なものかどうか調べてほしい。	苦情品の内容器底面の縁にみられた白い異物は、FT-IR 分析の結果、ポリプロピレンが加水分解により劣化したものであると考えられた。ポリプロピレンは体内に入ったとしても分解、吸収されずにそのまま体外に排せつされるため、切片のような形状のもので消化管を物理的に傷つけるおそれがないものであれば、健康上の問題はないと考えられた。
24	カセットコンロ	カセットコンロのスイッチを回して点火したところ、カセットボンベの装着箇所付近から火が出て、次いで、バーナーの外側からも炎が上がった。新品のカセットボンベに交換しても、同じ状態であった。原因を調べてほしい。	再現テストの結果、苦情品のコンロを使用したときに、コンロとボンベとの接合部付近からガスが漏れ、バーナー以外の部分から炎が出る場合があることが確認された。しかし、再現テストを終了する頃には、ボンベを装着した状態でのガス漏れが発生しなくなったこと、器具ガバナの部品の欠落や破損がなかったことから、ガスが漏れた原因の特定はできなかった。
25	オーブンレンジ	約 2 年前に購入したオーブンレンジが、購入当初からオーブン機能を使用した後に音がし、最近になり音が大きくなってきた。音の原因を調べてほしい。	オーブンレンジのオーブン機能を使用した後の音は、調理による加熱で膨張した金属製の庫内壁などが、調理が完了して庫内壁が冷める際に生じるきしみ音であると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
26	オーブンレンジ	購入7年目のオーブンレンジで総菜を温めていたところ、発煙して食材が焦げていた。原因を調べてほしい。	苦情品は正常に動作することに加え、内部機構等に焼損等の痕跡がなく問題が認められなかった。さらに、類似の食材を用いた再現テストでも相談者の使用状況で食材が発火・発煙することはなく、発煙した原因は特定できなかった。
27	オーブンレンジ	オーブンレンジがいつの間にかデモモードに変わっていた。何もしなくても突然作動する。デモモードに入りやすい商品か調べてほしい。	苦情品は、参考品の4銘柄と同様に、デモモードに設定するためのボタンの操作回数が多いほか、複数のボタンを組み合わせるなど、通常では行わない内容であることから、誤ってデモモードに入りやすい商品であるとは言えなかった。
28	電気グリル鍋	電気グリル鍋を箱にしまおうとしたところ、部品が本体から外れて落ちたため、足にけがをした。部品が外れやすい商品か調べてほしい。	事故は温度調節器またはプレートや深なべが外れて発生したと考えられた。苦情品はプレートや深なべを固定する仕組みはみられなかったが、同様の構造の参考品と比べて外れやすいとは言えなかった。また、苦情品の取扱説明書には「温度調節器は持たない。はずれて本体が落下するおそれ。」と注意表示があった。
29	コーヒーメーカー	2年前に購入した、コーヒーメーカーの底部のホース取り付け部から、使用中に水が噴き出した。ホースの取り付けに問題がないか調べてほしい。	苦情品のホース、ニップル及びクリップの寸法は適切であり、正規の状態で取り付けられていれば、使用時の圧力によって外れることはないと考えられる。苦情品のホースが外れた原因は、購入時のホースの取り付け状態が不十分であった可能性や、2年の使用過程で、繰り返し加わった圧力や振動の影響などにより、ホースの取り付けが徐々に緩んだことが考えられた。
30	コーヒーメーカー	2年前に購入したコーヒーメーカーが通電しなくなり、裏蓋を開けたところ内部部品が焦げていた。内部部品が焦げた原因を調べてほしい。	苦情品は、電熱線用端子に用いられる平型接続子が何らかの原因で接触不良となり、異常発熱して焼損に至った可能性が考えられた。 しかし、苦情同型品を用いた再現テストでは電熱線用端子が高温となったものの、焼損に至るような異常発熱はしなかったことから、原因を特定することはできなかった。
31	電気ケトル	電気ケトルの水位を示す透明なプラスチック製の窓部分が加熱時に変形して、隙間が開くようになった。原因を調べてほしい。	苦情品の透明窓の隙間は繰り返し加熱・冷却による膨張と収縮や、成形時の残留ひずみなどの影響で溶着部に亀裂が発生・進展し剥がれたために生じたものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
32	卓上型食器洗い乾燥機	6 年前に購入した卓上型食器洗い乾燥機を使用中に、焦げる臭いがしたので中を確認したところ、小物入れが溶けて箸が焦げていた。原因を調べてほしい。	苦情品のヒーターが高温になったため、ポリプロピレン製の小物入れが溶けて箸が落下し、ヒーターに接触して焦げたものと考えられた。なお、洗い工程とすすぎ工程でヒーターが水没しておらず赤熱したため高温になったと考えられたが、水の流路に流れを阻害するような異物や汚れの付着等は見られなかったことから、ポンプに不具合が生じて吐出量が減少している可能性が高い。
33	食器乾燥機	3 年前に購入した食器乾燥機を使用中、プラスチックが溶けるような臭いがするので、内部を見たところ部品が溶けていた。溶けた原因を調べてほしい。	食器乾燥機の後面にあるダクトの樹脂が溶けた原因は、腐食によりダクト内のヒーターの電熱線が断線し、マイカ板と電熱線が接触した状態になったためであると考えられた。
34	乳幼児用カップ	ストロー付きの乳幼児用カップを購入したところ、ストローを吸っても、飲むのが困難なことがある。構造等に問題がないか調べてほしい。	苦情品は本体、フタ、ストローで構成されており、ストローについている漏れを防止するためと考えられる弁があることにより、他のブランドのストロー付きカップよりも吸いづらくなっていると考えられた。また、苦情品、苦情同型品の中でも吸いづらさに個体差があったが、これは弁の切れ込みの大きさや厚さに個体差があったことに影響していると考えられた。
35	電子レンジ専用調理器	電子レンジ専用調理器を取扱説明書通りに使用したところ、電子レンジが調理完了前に止まってしまった。商品に問題がないか調べてほしい。	取扱説明書に紹介された調理方法を参考に調理を行ったところ、電子レンジが途中で停止し、調理が完了しないことがあった。しかし、電子レンジによっては調理できない場合があるなどの表示はなかった。なお、電子レンジが途中で停止したのは、庫内の物(容器など)が異常高温になったと認識され、安全機能が働いたことによるものと推察された。
36	ステンレス製携帯用魔法瓶	ステンレス製携帯魔法瓶に熱いお茶を入れて使おうとしたところ、魔法瓶の外側が熱くて持てなかった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は初期不良として真空二重構造に何らかの不具合があり、内側の熱が逃げて外側が熱くなったものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
37	スープ用のポット	スープ用のポットに熱湯を入れて飲もうとしたところ、プラスチックが溶けたような味がした。ポットを洗浄しても同様であった。衛生上問題となる成分が溶出していないか調べてほしい。	苦情品に熱湯を入れることにより、溶剤などとして使用される脂肪族炭化水素類が検出されたため、これらが臭いに関与しているものと推測されたが、食品衛生法に準じて溶出試験を行ったところ、苦情品からの材質ごとの溶出物はすべて基準値内に相当し、衛生上の問題はないと考えられた。
38	片手鍋	2、3年前に購入した片手鍋の底に米粒くらいの穴が開いた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の材質や板厚は参考品と同等であり、商品に問題はみられなかった。なお、穴の開いた原因については、腐食部に付着物が見られたことや、腐食領域の広がり方から考えて、偶然、底部の表側と裏側のほぼ同じ位置に、塩分等を含んだ液滴などが付着することで、それぞれで腐食が進行し、表側と裏側のくぼみがつながったためと考えられた。
39	圧力鍋	圧力鍋を持ち上げた際、補助取っ手が割れたため、湯がこぼれ両足にやけどをした。補助取っ手が割れた原因を調べてほしい。	苦情品の補助取っ手の破断面には、熱による炭化や破断の原因となる傷もなく、また、苦情同型品を使った補助取っ手への繰り返し加熱・SG基準の強度テストでも壊れることがなかったことなどから、苦情品の補助取っ手が割れた原因を特定することはできなかった。
40	圧力鍋	約2年前購入した圧力鍋のパッキン部分から蒸気が漏れるのでパッキンを交換したが、同じ状態が続く。構造に問題がないか調べてほしい。	パッキンを含め苦情品に異常はみられないほか、SG基準を参考にした試験（強火による加熱試験）の結果、相談者の申し出のようなパッキンからの蒸気漏れは生じなかった。
41	圧力鍋	4、5年前に購入した圧力鍋の底の金属板が剥がれた。原因を調べてほしい。	圧力鍋からはり底が剥がれたのは、はり底が過度に高温になったときに、はり底内のアルミニウムが溶融して隙間ができ、鍋底との接合が弱くなったためであると考えられた。その状態で使用し、加熱冷却を繰り返すことで、はり底が剥がれたと推測された。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
42	たこ焼き器	たこ焼き器のスイッチを入れたときに、スイッチ部が飛んで火花が出た。原因を調べてほしい。	火花が出た原因は、スイッチボタンの支軸部が破損したため、クランクとバネの固定が外れ接触し、短絡したことによるものと考えられた。苦情同型品で行った400回の断続動作テストや20 サイクル分の再現テストでも破損や火花の発生は起こらなかったが、苦情品とはスイッチ支軸部の形状が異なっており、苦情品と同じ構造のものでテストできなかったため、スイッチボタンの支軸部が破損した原因を特定することはできなかった。
43	フライパン	購入後約3カ月でフライパンのねじが脱落し、取っ手が外れた。その後、時々ねじを締めながら使用していたが、調理中に再び取っ手が外れた。取っ手が外れた原因を調べてほしい。	苦情品の取っ手が外れた原因は、止めねじが苦情同型品より短かったことに加え、フライパン本体のめねじのねじ山がつぶれていたためと考えられた。
44	フライパン	約3年前に購入したフライパンで調理中に、突然取っ手が根元から破損した。破損した原因を調べてほしい。	苦情品の取っ手が破損した原因は、取っ手内に残留した水分により止めねじが腐食して強度を保てなくなったことにより、取っ手の樹脂に加わる負荷が増大したためと考えられた。
45	やかん	やかんの注ぎ口に付いた笛部分が溶け落ちた。再度、同じやかんを購入したところ、数回で同様に笛部分が溶け落ちた。やかんの笛部分が溶け落ちる原因を調べてほしい。	苦情同型品は、ガスこんろの五徳上の設置位置がずれたり、火力が強過ぎて炎が注ぎ口に達するような場合には、笛部分の樹脂の耐熱温度を超えることになり、樹脂が変形する場合があった。ラベルの表示を調べたところ、取っ手についての記載はみられたが、設置位置や火力によっては、耐熱温度の高い笛部分でも変形等することがあるとの注意表示はみられなかった。
46	やかん	2 週間の使用でやかん内部の底が黒く変色した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の側面や、苦情同型品の底面のアルマイト層の厚さに問題はみられなかったことから、苦情品の新品時のアルマイト層の厚さにも問題がなかったと推測される。なお、苦情品の変色の原因は、何らかの理由で、アルマイト層が失われて母材がむき出しになり、局所腐食が生じた後、黒色の酸化皮膜が再形成されたためと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
47	やかん	IH クッキングヒーターでやかんを11カ月間使用したところ、やかんの取っ手が根元から折れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の取っ手の破断面から、取っ手の折れが繰り返し荷重によって生じたのか、衝撃により生じたのか等の判定をすることができなかった。また、苦情同型品を用いて、SG 基準に基づく強度テストや、耐熱衝撃性テストを行ったが、苦情品のような折れは再現しなかった。今回のテストからは、苦情品の取っ手が折れた原因を特定することができなかった。
48	やかん	1 カ月前に購入したやかんの注ぎ口に付いた笛部分が溶けた。溶けた原因を調べてほしい。	五徳中央に苦情同型品を設置し、記載の注意表示を守り側面から炎があふれない程度の火力で加熱する限りでは、笛部分の樹脂に変化はみられなかった。しかし、設置位置が五徳中央からずれていたり、強火で加熱するなど、炎が底面からあふれ、注ぎ口に直接当たる場合には、笛周辺の樹脂の温度が記載の耐熱温度(180 ℃)を超え、樹脂が溶けて変形する場合があることが分かった。なお、今回テストした限りでは、軸部分の樹脂は苦情品のように溶けて変形し笛の開閉ができなくなることはなかった。
49	ポリタンク容器	水を長期間保存できるという特殊な抗菌剤を使用したことをうたったポリタンク容器を購入したが、衛生面が心配になり、使用を途中で中止した。衛生面に問題がないか調べてほしい。	新品である苦情同型品で1カ月余り保存した水道水の衛生面には問題がみられなかったが、購入後1年半の間に何度か使用された苦情品では問題がみられた。一般的な「抗菌効果」から考えて、タンク内の水に入った細菌等を完全に死滅させるというものではなく、消費者がタンク内に入った微生物を除去したり、タンクに水を無菌的に入れるのは期待し難いと考えられるため、苦情品で水道水を長期間、衛生的に保存するのは困難な場合があると考えられた。
50	ウオーターサーバー	半年前に契約し借りていたウオーターサーバーの給水ホースの内側が黒くなっていた。黒い異物とウオーターサーバーから出てくる水質を調べてほしい。	水のボトルから本体へつながる樹脂製のチューブ内部の黒い異物は、カビ等の微生物のかたまりであり、ウオーターサーバーを通した水からは、水道法等の基準にあてはめてみた場合、基準を上回るレベルの微生物が検出された。このことから、当該苦情品を現状のまま使用するには衛生上問題があると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
51	ミネラル還元水素水生成器	約1年前にミネラル還元水素水生成器を購入した。気泡が少ないと思うので、表示通りに水素が発生しているか調べてほしい。	苦情品で水道水から調製した直後の水の溶存水素濃度は水道水（0.02mg/L 未満）より高い（0.10mg/L）ことから、苦情品から水素が発生していると考えられたが、水素が 20℃で水に溶け込むことができる最大濃度（約 1.6mg/L）の1/16 程度であった。なお、長時間の保存や沸騰により、溶存水素濃度は調製前の水道水と同様、検出できないほど低くなった。
52	炭酸水製造機	炭酸ガスカートリッジを炭酸水製造機のノズルに取り付けた後、水を入れたボトルに取り付け炭酸水を作ろうとしたところ、ノズルが突然飛び出し、右目頭上に当たり負傷した。ノズルが飛び出した原因を調べてほしい。	ボトルに水を入れ、炭酸カートリッジをセットし、ノズルを炭酸ガスが噴出されるまで回し、噴出中に逆に回すとノズルが飛び出すが、通常の使用でノズルが飛び出す事象は確認されなかった。
53	炭酸水製造機	初めて炭酸水製造機を使用し、炭酸水を作ろうとしたところ、ボトルが破裂して右手指を負傷した。ボトルは上方に飛び、天上に突き刺さっていた。ボトルが破裂した原因を調べてほしい。	苦情品が破裂した原因は、台座をはめ込むためにボトル部分がくぼんだ箇所に亀裂が入っていた可能性が考えられた。なお、亀裂については、初めて使用した際の事故であることや、パッケージに破損や変形が見られないことから、製造時に生じていた可能性が考えられた。
54	洗濯乾燥機	昨年購入した洗濯乾燥機で、敷パッド2枚と、綿毛布、タオルケット、おねしょシーツ等を洗濯したところ、脱水時に強い振動が発生し、洗濯乾燥機が破損した。洗濯乾燥機が破損した原因を調べてほしい。	取扱説明書で洗濯機で洗濯してはならないとされる防水性の洗濯物が洗濯物のかくはんを妨げていたことや、サイズ、質量の大きな洗濯物が上の方に入れられていたことにより、すすぎ脱水のための高速回転中に上方の質量の大きな洗濯物が遠心力により移動したため、バランスが崩れ、異常な振動が生じ洗濯機が破損したものと考えられる。なお、苦情同型品による再現試験の際にも、本体が破損しても非常停止する機能は働かず運転し続けた。
55	洗濯乾燥機	2 年前に購入した洗濯乾燥機は、衣類が破れることがたびたびあり、メーカーに修理にきてもらったが原因不明であった。商品に問題がないか調べてほしい。	相談者が使用したものと同銘柄の衣類を用いて、苦情品での再現テストを試みたが、衣類が破れるような状況は発生せず、原因の特定には至らなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
56	洗濯乾燥機	8 カ月前に洗濯乾燥機を購入した。当初から洗濯をすると異常に泡が出て、衣類に粉が付着したり、部屋に落ちたりして、その結果皮膚障害及び体調不良になった。洗濯物から落ちる粉に洗剤由来の成分が含まれているか調べてほしい。	苦情品で洗濯した際に異常に泡が出たり、洗濯物に粉が付着するという現象は再現されなかった。
57	ドラム式洗濯乾燥機	約 10 年前に購入したドラム式洗濯乾燥機を使用中、エラー表示が出たので、糸くずフィルターから糸くずを取ろうとしたところ、プラスチックのような破片が詰まっていた。破片を取り除くと洗濯機は動いたが、洗濯物に破片が付着しており、振って取り除いたため、持病のぜんそくが悪化した。糸くずフィルターに詰まっていた破片が何か調べてほしい。	提供されたドラム式洗濯乾燥機の糸くずフィルターに残っていたという破片を調べたところ、繊維強化プラスチックの破片である可能性が高いと考えられた。苦情品がすでに廃棄されているために、苦情品由来のものか、外部のものかなどを特定することはできなかった。
58	全自動洗濯機	全自動洗濯機で洗濯したものを水ですすいだところ、水が濁って泡が出た。全自動洗濯機のすすぎの性能を調べてほしい。	洗濯後の衣類等には界面活性剤が残留・付着していたが、今回テストした限りでは、苦情品と他メーカーの洗濯機でそれぞれ洗濯した衣類に含まれる界面活性剤量に差はみられなかった。
59	全自動洗濯機	7 年前に購入した全自動洗濯機のプラグを差し込んでいたコンセントから発火し、コンセントの差込口付近が焼損した。発火した原因を調べてほしい。	プラグには、導線の 2 本ともに溶融痕があり、分離していたコードもプラグ側の導線端で 2 本ともに溶融痕がみられた。これらの状況から、プラグの根元付近でショートしたものと考えられた。プラグが焼損し、一部欠損した状態では発火の発生状況は確認できず、原因の特定には至らなかった。
60	布団乾燥機	約 20 年前に購入した布団乾燥機を使用していたところ、電源コードから発火し、付近のカーペットが焦げた。発火した原因を調べてほしい。	苦情品は製造から 20 年以上経過しており、長年の使用で電源コードが劣化したことや屈曲が繰り返されたため、芯線が半断線状態となって発熱し、短絡・スパークして発火に至ったものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
61	スチームアイロン(コードレス)	スチームアイロン（コードレス）を使用中、電源を入れたまま 5 分から 10 分スタンドに置いていたところ、スタンドが溶融した。原因を調べてほしい。	苦情品はかけ面の温度が一定の範囲内になるように調節を行うサーモスタットに用いられているバイメタルが下方に曲がっており、苦情同型品のかけ面の温度及び取扱説明書に記載されている温度に比べて極めて高い温度（260℃）になっていた。しかし、苦情同型品のかけ面の温度を約 260℃にしてスタンドに放置した場合、24 時間経過しても溶融の程度は苦情品より軽かった。
62	電気掃除機	電気掃除機を購入し使用したところ、次々と家電製品に不具合が生じた。電気掃除機から発生する高調波を調べてほしい。	苦情品から発生する高調波について、JIS 規格を基に行った測定では、いずれも規格範囲内であり、総合高調波電圧ひずみ率についても問題はみられなかった。
63	スチームクリーナー（スタンド式）	スチームクリーナーのパーツを外す際に抜けにくく親指を負傷した。再度使用したときも同様に親指を負傷した。構造に問題がないか調べてほしい。	指を負傷したのは、ロックボタンを押し込んだまま延長ハンドルを引き抜いた際に、指先がロックボタンの周囲の部分と固定穴の間に挟まれたことが原因であると推察された。苦情品の取扱説明書には、分解時の指詰めに関する注意表示があったものの、参考品 2 銘柄と比較して指が挟まれやすい構造であった。
64	高圧洗浄機	4 年前に購入した高圧洗浄機が洗車中に発煙した。発煙した原因を調べてほしい。	ポンプを駆動するモーターの電機子巻線の一部に絶縁不良や断線などの異常が発生したために、回転数が低下したことで電流が増大、コイルの温度が上昇して発煙したものと考えられた。
65	洗濯用合成洗剤	液体の洗濯用合成洗剤で洗濯した後に、洗濯物にしみを発見した。使用した液体の洗濯用合成洗剤が原因か調べてほしい。	テストした限りでは、苦情品がしみ発生の原因となっているとは考えにくかった。また、提供された繊維製品に付いたしみの性質の調査を試みたが、特定することができず、しみが発生した原因は不明であった。
66	洗濯用着香剤	洗濯時に衣類に香りをつける商品の試供品を使用して、黒色のワンピースと紺色のセーターを洗濯したところ、何カ所も変色した。洗濯用着香剤による変色かどうか調べてほしい。	提供されたワンピース及びセーターにみられた繊維の変色は、苦情品では再現されず、苦情品に由来するものではないと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
67	トイレ用消臭剤	スプレータイプのトイレ用消臭剤を使用したところ、ガスが抜け、中身が残っているのに噴射できなくなることが、3 本続いた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の内容液が残っているのにガスがなくなり噴射できなくなった原因は、内容液が通るチューブの先端が噴射口と反対の方向を向いており、傾けて使用するとチューブの先端がガス相に出た状態となるため、ガスのみが噴射される状況が繰り返され、内容液が残ってしまったと考えられた。
68	芳香剤	自動車のシフトレバーに芳香剤をつり下げて使用していたところ、約3週間でシフトレバーのカバーの樹脂部分が溶けた。溶けた原因を調べてほしい。	芳香剤には、樹脂の可塑剤として使用されることのあるフタル酸ジエチルが含まれており、芳香剤がシフトレバーのカバーの樹脂部分と接触した際にフタル酸ジエチルがにじみ出し、樹脂を軟化させたものと推察された。なお、苦情品には樹脂を変色・変質させるおそれがある旨の表示があった。
69	加湿器	加湿器のスイッチを入れたところ、蒸気の吹き出し口から瞬間的に火が出た。火が出た原因を調べてほしい。	加湿器の吹き出し口から火が出た原因は、ヒーター内部に水が浸入して腐食したことで、ヒーター内部の２つの電極が短絡した状態となり、過大な電流が流れて焼損したためと考えられた。ヒーター内部に水が浸入したのは、ヒーター水槽に堆積したスケールが徐々にパッキンの隙間に入り込んで止水できなくなった可能性が考えられた。
70	加湿器	昨年購入したスチーム式加湿器の吹き出し口から熱湯が噴出した。原因を調べてほしい。	苦情品は、苦情同型品と同様に正常に作動し、運転時の水温などにも異常は確認されなかった。従って、蒸気吹き出し口からアロマポットの高さまでお湯が上がり、周囲が濡れた原因は不明であった。
71	扇風機	扇風機を「強」にしても、風量がほかの扇風機より弱く感じる。風量に問題がないか調べてほしい。	苦情品の風速及び風量は、参考品 3 銘柄と比べて小さめであったが、JIS C 9601「扇風機」を参考にして測定した風速と算出した風量については基準よりも大きい値であり、商品に問題があるとは考えられなかった。
72	充電式扇風機	約２年半前に購入した充電式扇風機のバッテリーが液漏れした。原因を調べてほしい。	苦情品はバッテリーケースに何らかの原因で亀裂が生じており、バッテリーが液漏れした原因は、過充電によってガスが発生し内部内圧が上昇した際に、電解液（希硫酸）が亀裂から漏れ出たものと考えられた。なお、苦情品は過充電を防止する保護回路がなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
73	空気清浄機	ウイルスやホコリなどを吸い取るという広告を見て空気清浄機を購入したが、ホコリなどを吸い取っているように感じられない。効果に関する広告に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、ある程度の空気清浄効果が期待できるものの、相談者が使用したような広い環境（4.5+6 畳）においては、性能が不足しており、十分な効果が期待できない可能性が考えられた。
74	空気清浄機	空気清浄機 2 台を 1 年 7 カ月前から使用していたところ、1 台の空気清浄機の騒音がひどくなり、内部で火花が散ったため使用を中止した。もう 1 台も同じように騒音がひどい。原因を調べてほしい。	苦情品は使用の過程で板状の電極の表面に汚れが付着し白化したことや、板状の電極の内部電極にさびが発生したために、放電状態が不安定となって火花などが発生するようになり、騒音が大きくなったものと考えられた。なお、板状の電極は、手入れがしにくい場所であった。
75	電気あんか	10 年以上前に購入した電気あんかが「弱」では暖まらなかったため、「強」にして就寝したところ、右のふくらはぎにやけどを負った。温度調節機能に問題がないか調べてほしい。	苦情品の最高温度は約 73℃になるが、その後は 66℃付近で安定していた。その温度は JIS の基準値（90℃）以下であり、温度調節機能に問題があるとは言えなかった。
76	オイルヒーター	約 4 年前に購入したオイルヒーターの側面が溶けて変形した。原因を調べてほしい。	苦情品の操作パネルの裏側に異常発熱の痕跡は見られず、連続運転時も操作パネルの温度が異常に上昇することがなかったことから、パネルの変形はオイルヒーター本体からの発熱によるものではなく、何らかの外的要因によるものと考えられた。
77	オイルヒーター	オイルヒーターを購入したが、期待した機能ではなかった。商品の消費電力や表面温度が取扱説明書通りか調べてほしい。	消費電力は取扱説明書に記載されている値よりやや小さかったが、電気用品安全法に規定されている許容差以内であった。また、フィン（放熱板）の表面温度は取扱説明書に記載されている値と同等又はそれ以上であり、商品に問題があるとは言えなかった。
78	電気足温器	電気足温器の加熱が止まらず高温になり、使用を中止した。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は運転モード LOW ではサーモスタットが作動する温度に達しないため、加熱が止まらず、つま先温度は電源 ON から約 4 時間後に、約 70℃の高温のまま平衡になることがわかった。また、LOW で平衡になったときの温度のほうが、HIGH のときの平均温度よりも 7℃以上も高くなることもわかった。これらのことから、本商品は温度制御に問題があると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
79	電気足温器	電気足温器を使用中に、30分ほどうたた寝をしていたところ、右足の裏に低温やけどを負った。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品、苦情同型品で温度パターンが異なるほか、JISの基準値（60℃）を越えることがわかった。中にはLOWであっても70℃の高温になるものもあり、温度制御などの品質にばらつきがあり問題であった。さらに、足を動かさずに長時間同じ状態でいると、低温やけどを負う可能性があることもわかった。苦情品には低温やけど防止のための使用上の注意表示がなかった。
80	電気ストーブ	中古で購入した電気ストーブのスイッチを入れると耳鳴りがひどくなる。電気ストーブから発生する電磁波を調べてほしい。	苦情品から放射される電磁波は、許容値を大きく下回っており、問題は確認されなかった。
81	電気ストーブ（カーボンヒーター）	約5年前に購入した電気ストーブが使用中焦げ臭くなった。原因を調べてほしい。	使用中に焦げ臭くなった原因は、ロータリースイッチの高温設定の端子の焼損が最も激しいことから、内部の接点の接触不良などにより異常発熱し、接点及びその周辺部が焦げたためと考えられた。なお、苦情同型品の入手ができなかったため、ロータリースイッチに問題があるかどうかについては調査できなかった。
82	電気温風機（セラミックファンヒーター）	電気温風機の吹き出し口が焦げた。焦げた原因を調べてほしい。	吹き出し口はヒーター部の熱により変色したことに加え、ヒーターの放熱部のほこりが熱により炭化し、その際に発生したガスの成分が付着したため変色したものと考えられた。なお、5秒間の接炎テストの結果から、吹き出し口がヒーター部の熱により溶融や発火に至ることは考えにくい。苦情品は、使用者のメンテナンスで内部のほこりを取り除ける構造ではなかった。
83	セラミックファンヒーター	購入後2年間しまっていたセラミックファンヒーターを初めて使用したところ、プラグの付け根から発火した。原因を調べてほしい。	苦情品は、何らかの原因で電源コードに過度な機械的ストレスが加わるなどして局部的に屈曲したため芯線が半断線状態となり、異常発熱して断線に至ったものと推察された。なお、苦情品の電源コードの強度については、苦情同型品が入手できず、電気用品安全法の技術基準に定められている「折り曲げ試験」などが行えなかったため、確認できなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
84	電気こたつ	3 年前に購入した電気こたつのヒーターカバーで 3 歳の女児がやけどし、こたつ布団も焦げた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品はヒーターユニットが正常に作動し、測定した各部の温度に問題はなかった。保護網でやけどをしたり布団が焦げたのは、保護網にある程度の時間触れてしまった、または、保護網の植毛加工の厚みが薄い部分に触れてしまったことが原因と考えられた。また、布団などが保護網に接触することで、放熱が妨げられ、保護網の表面が更に高温になっていた可能性もある。
85	石油ストーブ	購入した石油ストーブの操作つまみが消火位置まで上がらず、消火できなかったため交換してもらったが、交換した石油ストーブも同じ状態になった。危険なので原因を調べてほしい。	苦情品は取扱説明書の記載どおり、変質灯油を使用したことで、芯の部分にタールを生じ、芯と芯調節器が固着して芯の上下に支障をきたしたことが消火できなかった原因と考えられた。
86	石油ファンヒーター	20 年位前に購入した石油ファンヒーターを使用中に、意識を失った。一酸化炭素中毒が疑われるので、商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は室内の一酸化炭素濃度が高くなると、不完全燃焼防止装置が作動し、停止することが確認され、問題はみられなかった。
87	石油ファンヒーター	石油ファンヒーターの温風吹き出し口から炎が出た。原因を調べてほしい。	苦情品の温風吹き出し口から炎が出る現象は再現されず、原因の特定には至らなかった。ただし、送風管のゴムには亀裂が生じており、前面カバーを留めるネジの脱落などで外れやすくなり、不具合が生じる可能性が考えられた。
88	学習机	約 2 年前に購入した子ども用の学習机から発生する刺激臭が気になっていた。先日、学習机や付属の本棚に沿って部屋の壁紙が茶色に変色しているのに気づいた。発生している化学物質について調べてほしい。	提供された本棚の測定結果から、6 畳の部屋に設置した場合の VOC(揮発性有機化合物)の室内濃度を算出したところ、指針値が設定されている 8 成分及び TVOC(総揮発性有機化合物)は、それぞれ室内濃度指針値、暫定目標値を超えることはなかった。しかし、人に対して発がん性のあるベンゼンに関しては、室内濃度指針値が設定されていないものの、購入後 2 年を経過したテスト時点においても大気に関する基準(環境基準)よりも数値的には高くなると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
89	椅子	説明書に従い組み立てた椅子に座ったところ、座面の支柱を受ける樹脂部分が割れて、椅子が壊れ、肋骨を損傷した。椅子が破損した原因について調べてほしい。	破断面調査の結果から、苦情品の破断は軸のねじ部の下端と軸受けのねじ部の上端だけが重なった状態で、その1点に荷重が加わったことにより生じた過大な応力によるものであると考えられた。しかし、苦情同型品に対して、破断面調査結果から考えられる事故状況を再現した荷重テスト等を実施したが、軸受けは破損しなかった。なお、苦情品及び苦情同型品の軸受けの内部には樹脂の成型時に生じたと考えられる気泡が多数見られたが、5 月に購入した後継品は軸受けの形状が変更され、内部に気泡が見られず、肉厚が約2倍となっていた。
90	椅子	5 年前に購入したダイニングチェアの背もたれの接合部が折れた。もう1脚のダイニングチェアも接合部から脚に縦方向に亀裂が入った。強度に問題がないか調べてほしい。	JIS S 1203「家具－いす及びスツール－強度と耐久性の試験方法」に基づく一連の強度試験等を行った結果、強度に問題はないと考えられた。しかし、椅子にもたれかかったとき最も負荷がかかる部分が破損したり割れが生じていたことから、より大きな負荷が加わるなどの使用状況により破損に至ったものと考えられた。
91	椅子	約2年前から使用している木製の椅子に座っていたときに、4本脚のうち1本が折れた。折れた原因を調べてほしい。	苦情品は最も力がかかる脚の部位（座面との接合部付近）に大きな節があり、強度が低くなっていたものと考えられた。苦情同型品にも同様な位置に節がみられたが、根元からの距離や深さが苦情品と異なっており、JIS に基づく強度試験で問題はなかった。
92	椅子	約4年前に購入した食卓用の回転椅子のねじが緩んでがたつくようになった。ねじの取り付け方法に問題がないか調べてほしい。	座面を回転させるための旋回部品は、脚部上部と座面裏側の間に各4本のねじで取り付けられていた。緩んでいた脚部上部のねじはタッピンねじであった。座面裏側のねじはボルトで、緩み防止の目的で用いられるスプリングワッシャが挟みこまれており、ねじ穴には鬼目ナットのような埋め込みナットが使用されていた。脚部上部のタッピンねじは、椅子を使用する際の振動や衝撃などで繰り返し荷重がかかり、緩んでいったと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
93	椅子	約1年前に購入して組み立てた椅子を使用中に、背もたれが外れて転倒し、腰を打撲した。ボルトが外れた原因を調べてほしい。	苦情品の背もたれを固定するボルトとねじ穴のねじ山の状態から、ボルトは引っ張られて抜けたのではなく、緩んで抜けたものと考えられた。また、ねじ山の潰れやボルトに曲がりが見られたことから、ボルトが緩んだまま使われていたものと考えられた。苦情同型品による背もたれの耐久試験では、ボルトの緩みなどは見られなかったことから、適切に組み立てていればボルトの緩みは生じにくいと考えられた。
94	椅子	通販で購入した椅子に座ると、前のめりになり倒れる危険性がある。安定性に問題がないか調べてほしい。	JIS 規格に準拠した安定性試験を行ったところ、苦情品は 120N の垂直力で転倒することが確認され、実際の使用においても立ち上がる際などに転倒する可能性があった。このため、椅子としての安定性に問題があると考えられた。
95	座椅子	赤色の座椅子の色が、着用していたTシャツとズボンに移染した。座椅子が色落ちしやすい商品かどうか調べてほしい。	苦情品の座椅子は、表地と衣服が擦れると衣服に色移りしやすいものであると考えられた。また、苦情品には家庭用品品質表示法で定められている表示等がなく、同法上問題があると考えられた。
96	ベッド	約3年前に購入したベッドのマットに虫がわいていた。どのような虫か調べてほしい。	苦情品表面から発見された虫はチャタテムシの一種で、国内外に広く生息している虫であった。苦情品の購入から約3年が経過していること、苦情品の内部には虫が大量発生しているような箇所や巣、死骸等は確認できなかったことから、チャタテムシの発生原因が苦情品にあるとは言えなかった。
97	敷き布団	1 年前に購入し、使用していた羊毛敷き布団から白い粉状のものが大量に出てきた。白い粉状のものが何か調べてほしい。	苦情品の白い粉には繊維の他に白く薄い固形物が混ざっていた。固形物は、アミド結合を持ち、炭素と酸素を多く含んでおり、キサントプロテイン反応を呈することから、たんぱく質であると考えられ、拡大観察の結果から、落下した表皮などの皮膚片であると考えられた。